



改選議会初の

補正増額

一般会計補正予算 1億8815万4千円を追加

(補正後の予算総額 419億7212万3千円) ◎賛成多数で可決

今回の補正は、国の交付金を活用した公共施設の危険なブロック塀の撤去・フェンスの設置をはじめ、寄附金を財源とし入学準備金の貸付制度を新設します。また、クラウドファンディングを活用した民間事業への補助制度の開始や、人事院勧告に基づく給与改定が含まれます。

新 民間クラウドファンディング事業 (資金調達支援事業補助金:地域振興枠) 391万5千円

一般財団法人と右衛門無言館に対し、クラウドファンディング型ふるさと納税で事業者支援をするもの。

主な意見

- 中には貴重な展示品もあると思うが、直江兼続、越後の山城の顕彰などがあるが、関連する展示品はほとんどない。さらに11月から3月まで休館している施設にクラウドファンディングで支援するというのはおかしいのではないかと。予算案には賛成できない。
- 市民から集めた税金を投入するというわけではなく、これに賛同する厚意ある方々のお金を使わせていただくもので、何ら問題は無いと思う。

子どもの居場所をつくります

児童数の増加が見込まれる吉田南地区で、B & G財団の補助金を活用した新たなモデルケースとして、放課後児童クラブの機能を持った子どもの居場所を2020年4月以降にみなみ親水公園内で開設します。今回の補正では建設工事にかかる実施設計業務委託料が計上されました。

保育園運営費 保育士派遣委託料 185万円

保育士の人材派遣を受けるために不足する経費の計上。

問 人材派遣会社を通じて何名の派遣保育士がいるのか。

答 今年度2名の派遣を依頼し、当初予算で724万4452円計上した。年度末までの不足分をお願いしたい。

問 時給はいくらとなるか。合わせて900万円を超えるが、若手の正規職員2名分、非正規保育士なら3.5人くらいは雇える額だ。どう考えるのか。

答 時給単価一人1900円で契約している。年度当初の保育士の妊娠等でやむなく委託した。「保育士等人材バンク」の登録者は長時間の継続勤務が難しく、確保できなかった。クラス担任もしており、年度末までお願いすることとした。

問 建設費や運営費の補助金額は全額出るのか。

答 補助金額を上限として、かかった金額の補助を受けることができる。

問 施設の目的と、補助期間が終わってからの運営について教えてほしい。

答 財団のよい制度をぜひ使いたいと考えた。教育・保育経験者などをスタッフとして配置し、「児童クラブ」の枠を超えた、食事・おやつ提供や海洋センターと連携したプログラムな

定例会

すべて継続

指定管理施設の更新

| 施設の名称・機関 ※5年間(2019.4.1~2023.3.31) | 指定管理者・提案額 | 点数 (1000点満点) |
|--------------------------------------|--|-----------------|
| 燕市分水福祉会館 | 分水小学校区まちづくり協議会 484万7千円 | 774点 |
| 燕市交通公園 | 交通公園運営グループ (グリーン産業株式会社、株式会社青山組) 680万円 | 823点 |
| 燕市体育センター ほか24施設 | 燕市スポーツ協会・ミズノグループ (燕市スポーツ協会、美津濃株式会社、ミズノスポーツサービス) 2億4110万8千円 | 850点 |

※最低基準は、60%である600点です

問 市民体育館中アリーナを保育園の運動会で使ったが、節電を求められ苦情が出た。管理者はどういう立場で管理しているのか。商品展示にも違和感を持つ。物販収入780万円は管理料から引くのか。また管理料も2億を超え、運営の中身がわかるようにする必要があるのではないかと。

答 照明は柔軟な対応とするよう伝えた。商品も見た目のいいように指導する。物販収入は管理料から差し引く。今後はこういった形で報告・公表できるかを担当課と検討していきたい。



スポーツランド燕

どを事業内容に含む。補助期間が終わったら、国庫補助が見込める児童クラブ機能を考えていきたい。

B & G財団からは建設費と運営費が助成されます

| H31年度(2019) | H32年度(2020) | H33年度(2021) | H34年度(2022) | H35年度以降(2023) |
|-------------|-------------|-------------|-------------|--------------------------|
| 建設費助成 | 運営費助成 | | 自主運営 | |
| 3000万円(上限) | 2000万円(上限) | 2000万円(上限) | 2000万円(上限) | ※一般財源や放課後児童クラブ事業補助金などの活用 |

年頭のご挨拶



燕市議会議長
丸山吉朗

明けましておめでとうございます。市民の皆様には、すがすがしい初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。今年、己の亥年。これは成熟した組織が足元を固め、次の段階を目指す年だと言われますので、燕市議会も、20人の少数精鋭により新たな段階へと、猪突猛進で突き進みます。

今年も、市の行政運営には厳しく、かつ建設的な姿勢で臨みながら、市民目線に立ち、市議会の透明性を高めるために、議長として努力を惜しまぬ所存です。皆様からのさらなるご支援、ご協力をお願いいたしますとともに、皆様には幸多き年でありますよう、心よりお祈り申し上げます。